



社協はしま

発行所/社会福祉法人 羽島市社会福祉協議会

〒501-6255 羽島市福寿町浅平3丁目25番地 (福祉ふれあい会館内)
TEL 058-391-0631 FAX 058-391-0632



No.
220
2021. 1 . 1
隔月発行

- 紹介 P2 ・新年のご挨拶
- 紹介 P3 ・つながりを絶やさないために
～私たちができること～
- 紹介 P4 ・福祉協力校活動紹介
小熊小学校の福祉教育
- 紹介 P5 ・羽島市で見つけたつながり・支え合い
- 募集 P8 ・ふれあいインフォメーション

新年のご挨拶



社会福祉法人 羽島市社会福祉協議会

会長 中 畑 弘

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、お健やかに新春を迎えられたことと、心からお慶び申し上げます。

また、旧年中は社会福祉協議会の活動に多大なご支援・ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、私も社会福祉協議会では、住み慣れた地域の中で誰もが自分らしく安心して暮らせる地域づくりを目指し、地域にお住まいの皆様とともに、人と人とのつながりや支え合いの仕組みづくりを進めてまいりました。

しかし、新型コロナウイルスの感染拡大は、人と人との距離を保ち、接触する機会を減らすことが求められるなど、これまでの地域の福祉活動にも様々な影響を及ぼしており、このことで、地域の中で孤立しがちな人や、生活に不安を抱える人の抱える課題を深刻化させたり、困りごとを抱えた世帯の把握ができなくなったりすることが危惧されています。

このような状況の中、本会においては、コロナ禍においても、これまで地域の皆様が培ってきたつながりを途切れさせない取り組みを支援し、新たなつながりを創意工夫していくことが責務であると考えています。

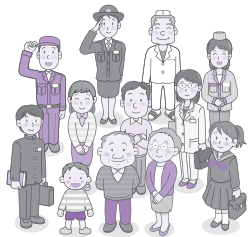
最後になりましたが、会員の皆様のより一層のご支援とご協力をお願い申し上げますとともに、皆様のご多幸とご健勝をお祈り申し上げます、新年のご挨拶といたします。



つながりを絶やさないために

こんな状況だからこそ

～私たちができること～



新型コロナウイルス感染症の拡大により、ご近所同士のつながりづくりや、支え合うための取り組みが、これまでどおり行えなくなっています。

このような中、これまでの活動やこれからの取り組みについて話し合い、工夫して継続したり、新たな形で再開したりしている地域があります。

みんなの笑顔を見たいから

ひとり暮らしや、家の中で過ごしがちな高齢者が気軽に集い、地域の人となりができるふれあいサロン活動が、いくつかの地域で行われています。

新型コロナウイルスの感染を避けるため、参加者とボランティアの手指消毒と検温を徹底し、定期的な換気や密にならないような工夫をして開催しています。



▲手指消毒はしっかりと

一度に多くの人が集わないよう短時間での分散実施をしている地域もあります。

安心感を得ていただくために

地域のボランティアが、同じ地域に住むひとり暮らし高齢者等のお宅を訪問する、ふれあい訪問活動が各支部社協で行われています。

社協江吉良支部では、長年、手作りのお弁当を持参して訪問していましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、手段の見直しを行いました。

現在は、手土産を持参して見守り訪問をしています。



▲ウィズコロナでつながろう

つながる想いが心を届ける

社協足近支部は毎年、ひとり暮らし高齢者と足近小学校の児童とのクリスマス交流会を行っていました。

しかし、今年度は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、交流会形式での実施を見合わせました。

そして、小学生に代わって地域のボランティアが対象者の自宅を訪問し、クリスマスにちなんだ鉢植えを



▲お変わりないですか？

お渡ししました。例年とは異なる形にはなりましたが、みなさんにつながりを感じていただくことができました。

「家でなくともつながる」をテーマに

社協上中支部では、離れていても顔を見ながら、オンラインで会話ができるスマホやパソコンのアプリケーション (Zoom) の使い方講座を開催しました。

この講座は、Zoomの使い方を学び、コロナ禍であっても人と関わるきっかけづくりをすることなどを目的としたものです。

遠方に子どもが住んでい



▲各自のスマホやパソコンを持ち寄って

る参加者は、「Zoomのおかげで、久しぶりに子どもや孫の顔を見て話すことができそうです」と嬉しそうにお話されました。

小熊小学校の福祉教育

羽島市立小熊小学校



社会福祉協議会と連携した福祉教育 ～6年生の事例から～

小熊小学校では毎年、社会福祉協議会と連携して福祉教育を実践しています。

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、福祉教育を例年通りに行うことができませんでした。そこで、昨年度と今年度の実践事例を合わせて紹介します。

本校では、6年生の総合的な学習の時間を活用して、福祉教育をテーマに学習をしています。

福祉教育では、出前講座や貸出可能物品などを活用して、年間を通じて福祉教育を実践しています。



▲小川さんによる講演（昨年度）

福祉教育を通じて、他を思いやる心を育てています。

【昨年度の取り組み】
初めに、「福祉とは？」と題して、社会福祉協議会の方から講話をしていただきました。また、社協の仕事内容なども紹介していただきました。

学習では、高齢者疑似体験、車いす体験、点字体験、手話体験、認知症サポーター養成講座を行ったり、車

いす生活者の小川さんの講演会を開催したりしました。このように学んだことをもとに、地元の特別養護老人ホーム「寿光苑」を訪問させていただきました。



▲寿光苑での合唱の様子

日頃学習している歌を披露するだけでなく、「ふるさと」を合唱すると、入所者の方も一緒になって口ずさんでみました。会場は、

温かい雰囲気にも包まれました。

【今年度の取り組み】

今年度も車いす体験を行いました。児童らは自走式と介助式の車いすがあることを初めて知り、「車いす利用者が驚かないよう、動かすときには声をかけることが大切である」ことを学びました。

児童は、今年度の高齢者疑似体験を通して、「すごく大変で、介助するときよりも、歩く時に手や足を動かすことに苦労しました。高齢者は動くのにとっても大変なことがわかりました。」と感想をまとめていました。

校内における福祉教育全校児童の事例から

ボランティア履歴を記録する「ボランティア手帳」を全校児童が持ち、活動記録を残しています。

登校した児童は自主的に朝の挨拶運動を児童玄関に

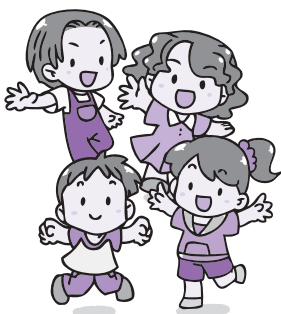
で行っています。

これらの活動を通して、一人ひとりの児童が、相手を思いやる心を育てることにつながりました。



▲朝の挨拶運動の様子

今後とも、社会福祉協議会と連携して、様々な体験活動を通して、児童に思いやりの心を育てる教育活動を推進します。



羽島市で見つけたつながり・支え合い

地域には、自然発生的な人と人とのつながりや支え合いが存在しています。羽島市社会福祉協議会では、これを「地域のお宝」と呼んでいます。このお宝が持つ意味を考え、今のつながりを維持することの大切さを意識することで、地域の支え合いに位置づけることができます。

～ 小熊町東小熊地区で発見!! 井戸端会議 ～

東小熊地区にお住まいの方が参加できる集いの場です。活動が始まり10年以上になります。毎月第4金曜日の13:30から始まり、おしゃべりをしたり、健康体操や季節に合った物づくりなどをしたりして過ごしています。

取材に伺った日は、講師による健康体操を行いました。椅子に座ったまま、東京五輪音頭や人生いろいろなどの歌に合わせて体を動かし、肩のまわりなどがほぐれ温まりました。体操の合間には、思い出話や家族の話、おすそ分けでもらった野菜で料理をした話などで盛り上がりました。

参加されている方は、「楽しいよ。うちにおったら、テレビ見とるだけやでね」などと話してくれました。



生活支援コーディネーター

「井戸端会議」という名前は、「昔のように集まっておしゃべりができるといいな～」との思いから、代表の河出さんが名付けたものです。毎回、8人程の参加あるそうです。みなさんの会話を聞いていると、「今日は、〇〇ちゃん来んのかな?」「来ると思うけど、娘さん来とつたて」といった話もされていました。見守りもできていて、素敵な集いの場です。

教えて!

ボランティアのコト

ボランティアクイズにチャレンジ! ～あなたはどこまで知ってる?～

問題:被災地でボランティア活動をする前の準備や心がまえとして正しい記述は次のうちどれでしょう。

- ① 被災した人からの依頼は断らずに、すべて引き受け最後まで取り組む
- ② 現地へ向かう前に災害ボランティアセンターが発信する情報を確認する
- ③ 融通を利かせた活動ができるように、災害ボランティアセンターを通さず単独で活動する

答えは?

被災者からの依頼を断るのは難しいですが、活動内容が体にも心にも、自分には負担が重過ぎると思ったら、ためらわずに出来ないと伝えましょう。

被災地における単独行動は、現地の混乱を生むため避けるようにし、必ず災害ボランティアセンターを通じた活動をしましょう。

よって、**正解は、②**となります。

「災害ボランティアをはじめよう!!」(発行:(福)岐阜県社会福祉協議会)等を参考に作成

ボランティアは、単なるお手伝いではありません。「ボランティアが必要な理由」を十分理解し、目的を持って活動しましょう。

ボランティアに関するご質問・ご相談等は、

羽島市福祉ボランティアセンター(☎391-0631)まで

(羽島市社会福祉協議会内) お気軽にお問い合わせください



高齢者の介護に関するお役立ち情報



地域住民

市民の方より、こんな相談がありました。

最近、足腰が弱くなって、夜トイレへ行く時につかまるものがないので転びそうになります。

介護保険の申請はしていませんが、手すりを取り付けるなどの際に助成はありますか？

羽島市では高齢者の方がいつまでも在宅で安心して快適に暮らせるように、住宅を高齢者の方に適するように改善するための費用の一部を助成しています。



地域包括
支援センター

『羽島市高齢者いきいき住宅改善助成事業』

★対象者

- ・65歳以上の高齢者の要支援・要介護認定を受けていない方で、住民票のある在宅に現に居住している方
- ・住宅の改善整備が必要と認められる方
- ・市税及び介護保険料を納期まで完納している方

★工事内容

- ・介護保険の住宅改修の範囲に準ずる工事
- 【例】 ・トイレまでの通路に転倒防止用の手すり等を設置
- ・お風呂の床の段差を解消 ・トイレの便器を和式→洋式に変更
- ・居室の戸を開き戸→引き戸に変更

★助成額

- ・対象工事費用の3分の1 ただし、10万円を上限とし、当該住宅につき1回限り

ちょっと注意しなければいけない点

- ・原則、対象高齢者本人が申請時に羽島市役所高齢福祉課窓口にて、簡単なチェックリストに身体状況を記載して頂き、**該当した方が対象**となります。また、本人の署名及び捺印が必要となります。
- ・**工事着手前**に助成交付申請書、助成対象経費の見積書の写し、住宅全体の平面図、改善を要する部分の写真（日付入り）等の書類の提出が必要となります。

地域包括支援センターでは、高齢者のみなさんの介護、健康や福祉、医療に関するご相談を受け付けています。
お気軽にお電話ください!!



羽島市地域包括支援センター
(高齢者総合相談センター)

☎394-2521

羽島市福祉ふれあい会館 1階



児童センター だより



あけましておめでとうございます
今年もよろしくお祈りします



児童センターおひなさま会

親子で楽しみましょう♪

【日 時】 2月12日(金) 10:30~11:30

【場 所】 児童センター アリーナ

【内 容】 おひなさまクラフトなど

【対 象】 乳幼児と保護者

【定 員】 25組

【参加費】 無料

【申込期間】 1月5日(火) ~19日(火)

【申込方法】 開館時間内に、専用申込用紙に記入して児童センターの申込箱に入れてください。
定員以上の申し込みがあった場合は、公開抽選を行います。



はっぴーサロンコーナー

「1月・2月の行事予定」

☆健康チェック(身長体重測定)

1月7日(木)・2月4日(木) 10:30~11:30

☆みんなDe くらふと

1月8日(金)・1月13日(水)

2月18日(木)・2月19日(金) 10:30~11:30

☆お誕生日手形スクラップブック

(1月生まれ) 1月15日(金) 10:30~11:30

(2月生まれ) 2月10日(水) 10:30~11:30

☆おもちゃ病院(おもちゃの修理をしています)

1月20日(水)・2月17日(水) 10:00~12:00

☆和!いいね

~節分~

1月26日(火)・1月29日(金) 10:30~11:30

~おひなさま~

2月5日(金)・2月9日(火) 10:30~11:30

☆物作り体験講座 ~木の飛行機作ろう~

1月27日(水) 10:00~11:00

羽島市福祉ふれあい会館 2階にて

☆読みきかせ講座 かりんとうさんとあそびまSHOW

1月28日(木)・2月25日(木) 10:30~11:30

※将来、子育て支援活動に携わりたい方も見学(体験)していただけます。
お気軽にお問い合わせください。

はしま子育て支援チームの活動

「子育て講座」

【日時】 2月24日(水) 10:30~11:30

【場所】 羽島市福祉ふれあい会館 2階

【講師】 三神廣子先生

お問合せ： ☎090-3447-8082(馬場)

お気軽にご参加ください。

※1・2月の「ほっとブレイクデー」、
1月の「子育て講座」はお休みします。

お申し込み・お問い合わせは

羽島市児童センター(羽島市福祉ふれあい会館4階)

☎ 391-1226 FAX 391-1622

e-mail : jidokan@hashima-shakyo.or.jp

インターネットURL <http://hashima-shakyo.or.jp/jidokan/>

休館日：毎週月曜日、第1・3日曜日、祝日

※新型コロナウイルス感染症防止につき、掲載行事を延期または中止する場合がありますので、ご了承ください。

令和3年4月1日採用

職員募集



①福祉活動専門員（正規職員1名）

・平成2年4月2日以降生まれで、社会福祉士資格（取得見込み可）と自動車運転免許を有する方

②介護支援専門員（正規職員1名）

・昭和36年4月2日以降生まれで、介護支援専門員資格と自動車運転免許を有する方

③発達支援センター指導員（嘱託職員・パート職員1名）

・保育士・特別支援学校教諭・小学校教諭・幼稚園教諭・言語聴覚士・作業療法士のうち、いずれかの資格または免許を有する方

◎申込方法、受付期間、試験日時・内容等、詳細は本会ホームページまたは下記までお問い合わせください。

- ①羽島市社会福祉協議会地域福祉課 (☎ 391-0631)
- ②ふれあい介護支援センター (☎ 394-4505)
- ③発達支援センター (☎ 392-6125)



募集

意見の募集について

現在「第4期羽島市地域福祉活動計画」を策定しています。この計画に反映するために、皆さんからの意見を募集します。

提出方法 任意の様式により、郵送、FAX、電子メールまたは持参のいずれかにて。

提出先

羽島市社会福祉協議会地域福祉課



羽島市福寿町浅平3丁目25番地



391-0632



fukushi@ashima-shakyo.or.jp

締切

1月13日(水)必着

策定中の同計画は、本会窓口（平日の8時30分～17時15分）及びホームページにて閲覧いただけます。詳細は、本会までお問い合わせいただくか、ホームページにてご確認ください。

ありがとう！
あったかハート

◆共同募金運動へのご協力

10月1日から実施いたしました共同募金運動（赤い羽根募金・歳末たすけあい募金）に、たくさんの善意をお寄せいただき、誠にありがとうございました。

また、自治会をはじめ、学校、職場等を通じて多くの方々にご協力いただきましたこと、重ねてお礼申し上げます。

結果につきましては、次号の「社協はしま」（3月1日発行予定）にてご報告させていただきます。

◆社協会費へのご協力

【法人・事業所・団体会費】

（株）日浦新聞社

（敬称略、10月1日から11月30日まで）

◆本会への寄付

匿名3件
（10月16日から12月10日まで）

羽島市社会福祉協議会 年末年始休業のお知らせ



羽島市社会福祉協議会事務局
羽島市福祉ボランティアセンター
ふれあい介護支援センター
羽島市地域包括支援センター
羽島市発達支援センター
発達教室もも・相談室もも

12月29日(火)～
1月3日(日)

羽島市児童センター

12月28日(月)～1月4日(月)



「社協はしま」は共同募金の配分金により作成しています。本紙に掲載の写真の一部は「はしま写真会」により撮影されたものです。